

STEMI 患者におけるクラウド型心電図伝送システムの有用性に関する検討

1. 研究の対象

2015年6月から2021年6月に、当院へST上昇型急性心筋梗塞（ST-elevation acute myocardial infarction : STEMI）にて搬送された方

2. 研究目的・方法

急性心筋梗塞を発症した場合、迅速に冠動脈の再灌流の行うことが患者さんの予後のために非常に重要です。当院では2016年6月より「クラウド型12誘導心電図伝送システム」を導入し、宇城広域および上益城消防と協力して、急性心筋梗塞が疑われる患者さんに対し、救急隊が測定した心電図のデータを来院前から共有することで、迅速な受入準備を整える取り組みを実施しています。今回、本システムの導入前後の治療成績を評価し、その有用性に関する検討を行います。この研究では、診療を通じて得られた情報を収集・分析します。研究のために新たな情報収集をお願いすることはありません。

3. 研究に用いる情報の種類

来院から再灌流までの時間、発症から再灌流までの時間、peak CPK、ICU/HCU滞在期間、在院日数、心エコー検査データ等

4. 研究の期間

2021年12月3日～2022年10月21日

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 集中治療室 鶴木 崇
住所 熊本市南区近見5丁目3番1号
電話番号 096-351-8000（病院代表）

以上